

工事店様用

全量買取向け

ZMPMCF エコめがね モバイルバックマルチコネクト ＜パワコン接続タイプ＞

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

パワーコンディショナー-SV センサ間 通信ケーブル加工マニュアル

ダイヤゼブラ電機（旧：田淵電機）製 パワーコンディショナー用
Ver2.0

SV センサ設定ツール 設定内容	
<PCS メーカー>	ダイヤゼブラ電機（旧：田淵電機）（マスターボックス）
<PCS 型式>	「EOU-A-MBX03-L（局番は0のみ）」
対応型式：	EPU-T250P8-FPL EPD-T250P8-FPL EPD-T250P6 EPD-T330P7 ※EOU-A-MBX03-L を介して対応

《注意》

モバイルバック MC 1 台に対して、接続可能なマスターボックスは 1 台になります。
また、マスターボックス 1 台を介して、モバイルバック MC が接続可能な
パワーコンディショナーの台数は型式ごとに異なります。
パワーコンディショナーの台数については、弊社の WEB サイトでご確認ください。
https://partner.eco-megane.jp/mc_pcs.html

注意事項

パワーコンディショナについての詳細な手順は、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂などによりメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの内容と異なる場合は、パワーコンディショナメーカー側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルパック、パワーコンディショナ、その他周辺機器の故障などの異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

1. 目的

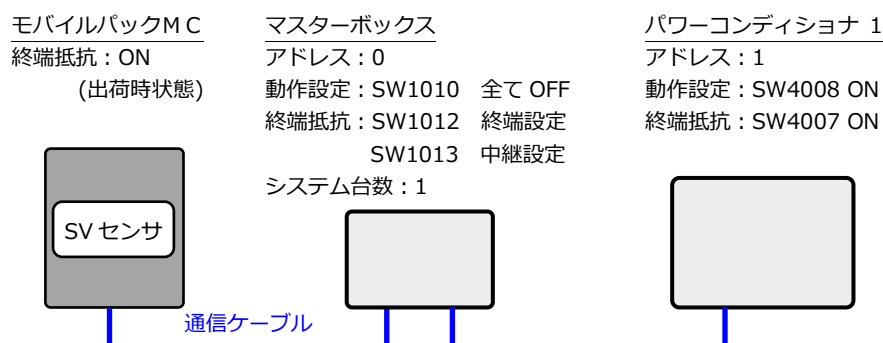
エコめがねモバイルパックマルチコネクト（以下 モバイルパックMC）をご利用いただくにあたって、「マスターボックス - SV センサ間通信ケーブル」の作成・施工手順を記載しています。

2. システム構成

以下に、マスターボックス 1 台、パワーコンディショナ 1 台接続のシステム構成例を記載します。

※型式によって接続可能台数が異なります。詳しくは当社 HP をご確認ください。

https://partner.eco-megane.jp/mc_pcs.html



3. マスターボックス - SV センサ間通信ケーブルの作成

3-1. 準備部材・工具

マスターボックス - SV センサ間通信ケーブル作成に必要な部材、工具を以下に記載します。

●部材

部材名	サイズ・規格	数量
丸型圧着端子（絶縁スリーブ付）	マスターボックス付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルを参照ください	3 個
シールド付きツイストペアケーブル	KPEV-S 1.25 mm ² - 2P	1 本
絶縁テープ	-	任意の長さ

<参考> マスターボックス - パワーコンディショナ間 通信ケーブルの準備

マスターボックス - パワーコンディショナ間を接続する通信ケーブルについて、必要な部材を以下に記載します。マスターボックスまたはパワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルを確認の上、市販品を入手・加工してください。

部材名	サイズ・規格	数量
シールド付きツイストペアケーブル	市販品	1 本
丸型圧着端子（絶縁スリーブ付）	市販品	ケーブル 1 本あたり 7 個

●工具

工具名	サイズ・規格
ニッパー	-
ペンチ	-
プラスドライバー	-
マイナスドライバー	-
トルクドライバー	-
圧着工具	圧着端子サイズに適合するもの

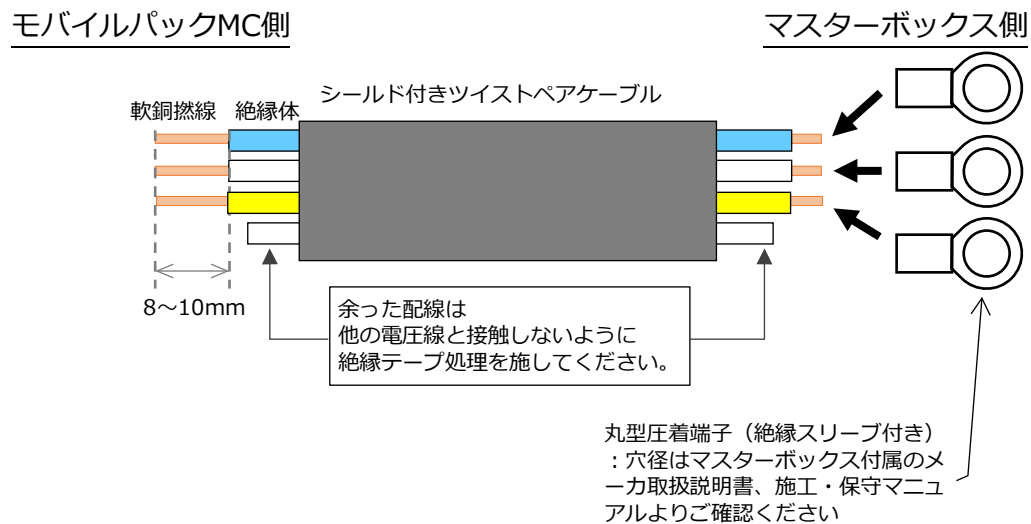
3-2. マスターボックス - SV センサ間通信ケーブルの加工

●ケーブル加工方法

マスターボックス - SVセンサ間の距離に応じた長さのシールド付きツイストペアケーブルを用意してください。

SVセンサ側 : 絶縁体を8～10mm剥ぎとってください

マスターボックス側 : 信号線およびシールド線の端に丸端子を圧着してください

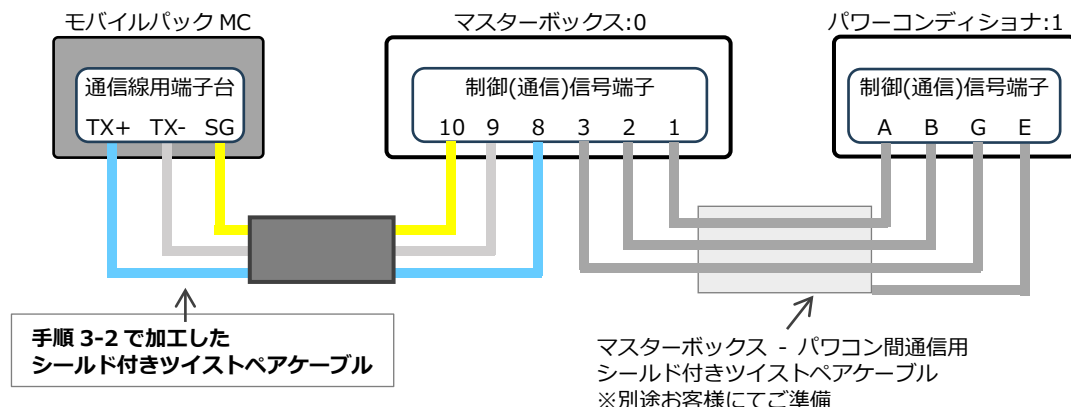


4. 通信ケーブルの取付け方法

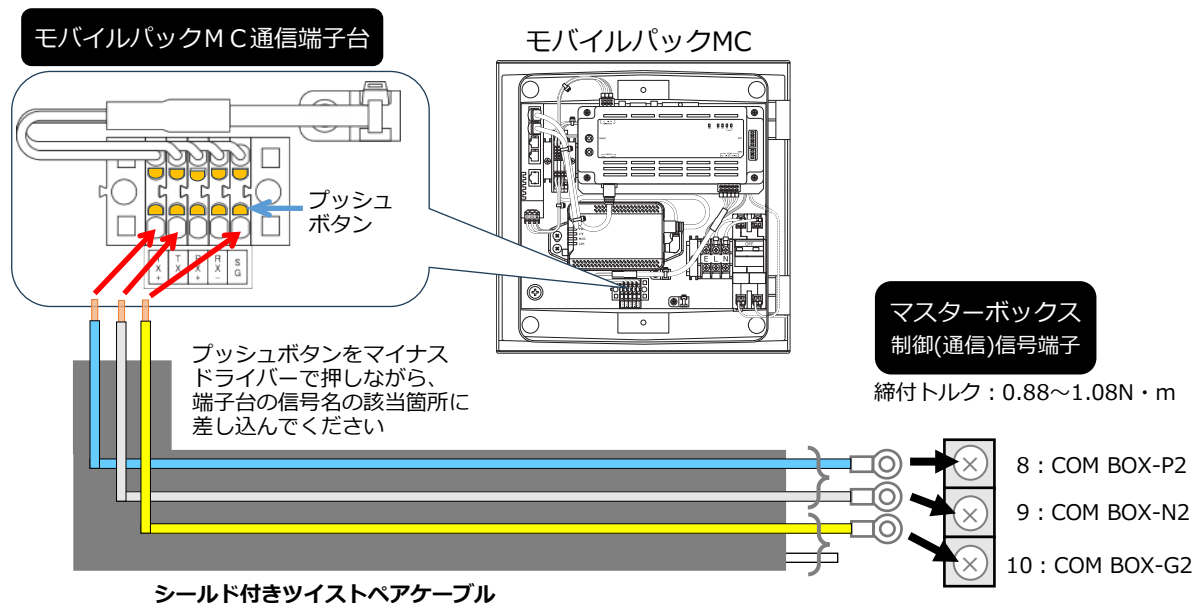
<注意>機器が運転停止している状態、すべての入力スイッチやブレーカが「OFF」になっている状態で作業を開始してください。

手順 3-2 で加工したケーブルで、モバイルパックMCの通信線端子台とマスターボックス(EOU-A-MBX03-L)の制御(通信)信号端子の間を接続してください。また、マスターボックス - パワーコンディショナ間通信ケーブルについては、別途マスターボックスまたはパワーコンディショナ付属のメーカ取扱説明書、施工・保守マニュアル等をご確認の上、加工・接続してください。

●ケーブル取付け全体図



●パワーコンディショナ-SVセンサ間通信ケーブル取付け部分図

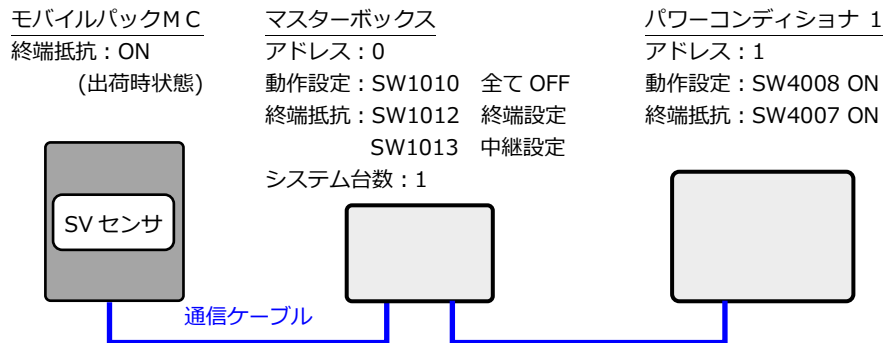


●結線対応表

モバイルパックMC 通信端子台	マスターボックス 制御(通信)信号端子	
信号名	端子記号	信号名
TX+	8	COM BOX-P2
TX-	9	COM BOX-N2
SG	10	COM BOX-G2

5. その他

●各機器の設定



5-1. 動作設定

マスターボックス、パワーコンディショナの動作設定を行ってください。設定方法の詳細については、マスターボックスまたはパワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルを参照してください。

マスターボックスの設定：

動作設定スイッチ(SW1010)のすべてのピンをOFFに設定してください。

パワーコンディショナの設定：

パワーコンディショナ制御基盤のディップスイッチSW4008を「ON」に設定してください。

5-2. アドレス（局番）の設定

マスターボックス、パワーコンディショナのアドレス（局番）の設定を行ってください。設定方法の詳細については、マスターボックスまたはパワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルを参照してください。

※ SVセンサの設定を行う際、SVセンサに登録する局番は必ずパワーコンディショナのアドレス(局番)設定値と同じ「1」にしてください。「0」に設定しますと、パワーコンディショナの発電量が取得できません。

マスターボックスの設定：

アドレス設定スイッチ(SW1011)が初期設定の「0」（全て OFF)になっていることを確認してください。「0」でない場合は「0」に設定してください。

パワーコンディショナの設定：

ディップスイッチ SW4100 が初期設定の「1」（6 番ピンのみ ON)になっていることを確認してください。「1」の設定でない場合は「1」に設定してください。

5-3. 終端抵抗の設定

SVセンサ及び、マスターボックス、パワーコンディショナの終端抵抗を設定してください。マスターボックス、パワーコンディショナの設定方法の詳細については、マスターボックスまたはパワーコンディショナ付属のメーカ取扱説明書、施工・保守マニュアルを参照してください。

モバイルパック MC(SVセンサ)の設定：

SVセンサの下段DIP-SW2のNo.1が出荷状態のON(下図)になっていることを確認してください。ONでない場合はONに設定してください。

<注意> 出荷状態では、SVセンサの終端抵抗はON状態で設定されています。

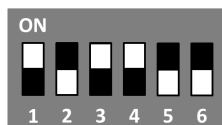


※スイッチの図は、スイッチの状態を白の四角で表しています。

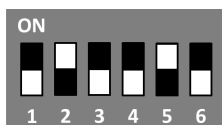
DIP-SW2 (終端抵抗 ON 設定)

マスターボックスの設定：

マスターボックスのパワーコンディショナ終端設定スイッチ(SW1012)を終端設定(下図 左)で設定してください。また、マスターボックス通信終端設定スイッチ(SW1013)を中継設定(下図 右)に設定してください。



SW1012 (終端設定)



SW1013 (中継設定)

※スイッチの図は、スイッチの状態を白の四角で表しています。

パワーコンディショナの設定：

パワーコンディショナ制御基板の終端抵抗設定ディップスイッチ SW4007 を「ON」にしてください。

5-4. システム台数の設定

マスターボックスまたはパワーコンディショナ付属のメーカ取扱説明書、施工・保守マニュアルに従い、マスターボックスにてシステム台数が「01」に設定されていることを確認してください。

販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

050-3185-6842

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。